

基本計画

1 第3期計画のスローガン

新しい大好きを。心、わきたつ美の里へ

このスローガンは、町の未来を住民の皆さんと共に思い描き、少しずつ形にしていくための“共通の言葉”です。私たち一人一人が「新しい大好きを育てているだろうか」「心がわきたつ瞬間を生み出せているだろうか」という問いかけを重ねながら、町の取組を確かめ合い、未来に向かって歩いていくための「道しるべ」とするものです。

※「新しい大好きを。」

住民一人一人が地域の中で“新しい好き”を見つけ出し、日々の暮らしや体験を通じて未来への希望を育てていく姿を表しています。

※「心、わきたつ美の里へ」

美里町という地名に込められた“美しさ”を、自然や風景にとどまらず、人・文化・暮らしの中に息づく価値として見つめ直し、そこから誇りや感性が自然に湧き上がるようなまちづくりを表しています。

2 指標の意義と「ミサトミライ指標」

スローガンを現実のまちづくりにいかすためには、その進み具合を確認し、共有できる“ものさし”が必要です。そこで本計画では、スローガンを体現する「ミサトミライ指標」を設定します。「ミサトミライ指標」は、単なる数値の達成度を測るものではなく、成果と挑戦の両方を大切にしながら、次の視点から町の取組を確かめるものです。

ミサトミライ指標

指標の種類	設定の視点
大好きを続ける目標	今ある“好き”を大切にしながら、変わらず守っていく。
大好きを育てる目標	小さな変化や努力を積み重ねて、もっと“好き”にしていく。
心わきたつ未来目標	まだ見ぬ価値に挑戦し、新しい“好き”を生み出していく。

この3つの視点を通じて、町の取組を評価・改善しながら、持続的に発展する美里町の姿を実現していきます。また、「ミサトミライ指標」は、町の未来を実現するための“道しるべ”ですが、その進み具合を確認する際には、すべてを達成率だけで測れるわけではありません。そこで、本計画では次の3つの類型に指標を整理しています。

ミサトミライ指標の類型整理

指標	類型	意味合い	評価の視点	達成率との関係
大好きを続ける目標	安定・維持型	現行水準を保つ。	サービスや状態を安定的に維持できているかを評価	数字で確認(算入)
大好きを育てる目標	改善・行動変容型	現行水準を高める。	行動や意識の変化、改善・向上が見られるかを評価	数字で確認(算入)
心わきたつ未来目標	挑戦・創出型	理想を掲げる。枠組みを超える。	試行や創造性を重視し、挑戦の姿勢を評価	数字ではなく取組の質で評価(非算入)

3 第3期計画の施策展開

本町は令和6年4月、人口戦略会議が公表した「地方自治体持続可能性分析レポート」において、かつての「消滅可能性自治体」という評価から脱却したとされました。これは大きな前進ではありますが、依然として出生数の減少や若者の転出による人口減少は大きな課題として残されています。

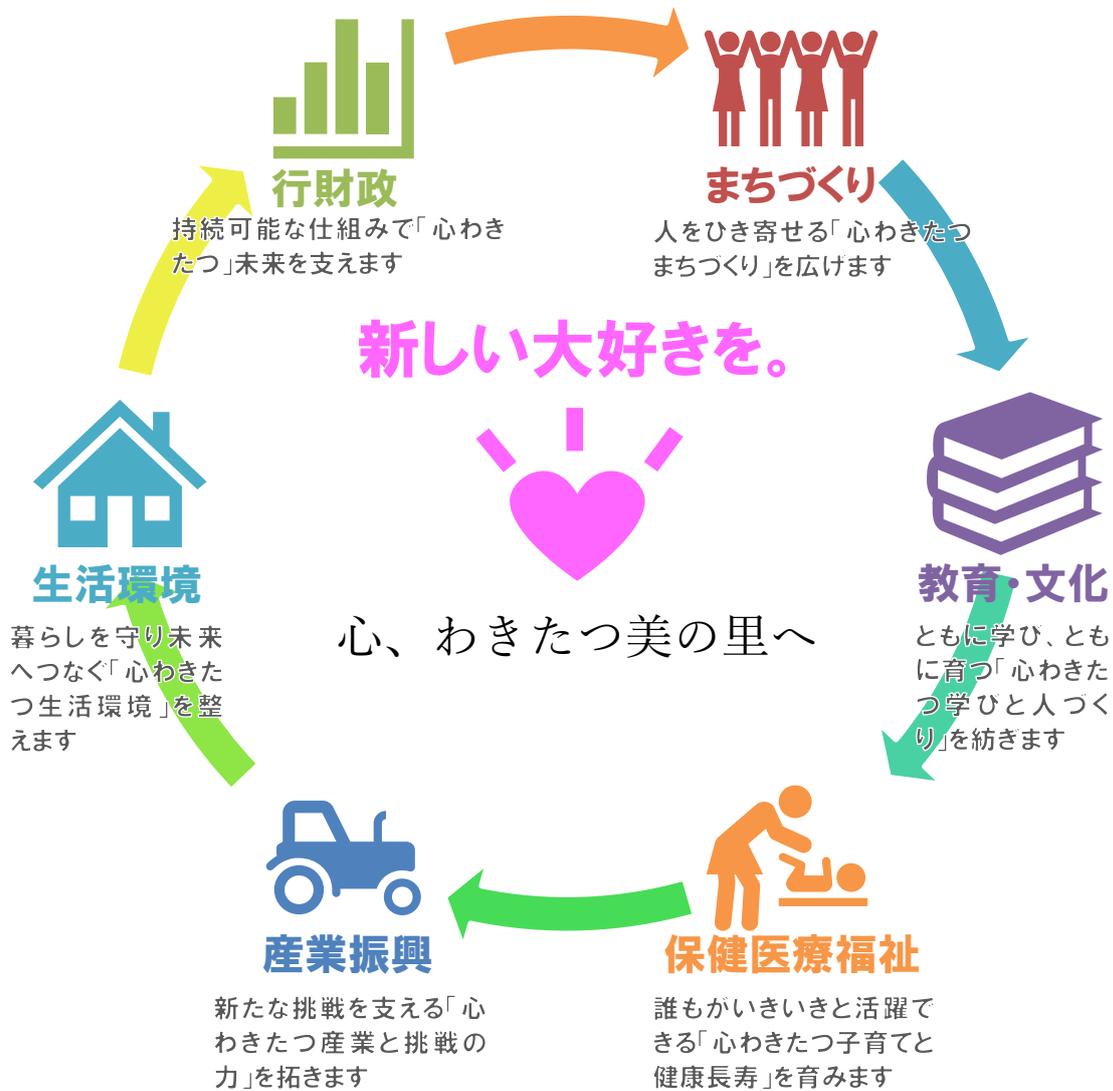
東日本大震災後には駅東地区への内陸移転が進み、子育て世帯の転入も見られました。この経験は、新たな住環境の整備が人口減少抑制に有効であることを改めて示すものです。今後は、町有地や空き家の利活用を進め、民間の力も取り入れながら、より良い住環境の創出を一層推し進めていく必要があります。

また、若者や女性にとって魅力ある地域となるためには、「働く」「育てる」「暮らす」という安心を確保することが欠かせません。雇用の創出、子育て・教育支援の充実に加え、文化・スポーツや地域活動を通じて、多様で豊かなライフスタイルを提供することが求められます。

こうした取組を更に進め、子育て支援と移住・定住支援を連動させ、新中学校を核とした教育・地域連携、産業振興、福祉の充実、脱炭素の推進を図るとともに、廃校の利活用などを組み合わせることで、人口減少を抑制しつつ、その進行を見据えた持続可能な施策を推進し、地域に好循環を生み出していきます。

その先に描くのは、「都市農村の魅力と生活の質を兼ね備えた存在感のあるまち」。それは、すなわち「新しい大好き」と“心わきたつ美の里”の実現です。

第3期計画の施策展開イメージ



「心わきたつ」7つの未来目標

- 未来目標1 笑顔あふれる子育て環境をつくります
- 未来目標2 住み続けたい移住・定住を促します
- 未来目標3 地域とともに育む学校運営を推進します
- 未来目標4 スポーツでつながる健康と暮らしを広げます
- 未来目標5 挑戦と再生が拓く地域産業を発展させます
- 未来目標6 脱炭素と経済の調和を図ります
- 未来目標7 3つの学び舎を未来の原動力へと再生します



4 心わきたつ未来目標

まだ見ぬ価値に挑戦し、新しい“好き”を生み出していくため、7つの「心わきたつ未来目標」を設定しました。重点的な事業展開を行うことで、「新しい大好き」と“心、わきたつ美の里”の実現をめざします。

未来目標1 笑顔あふれる子育て環境

子どもや保護者の笑顔があふれ、楽しみながら交流できる拠点づくりを推進するとともに、妊娠・出産から就学まで子育てに寄り添う支援を行います。ひとりじゃないと思える安心感と、日々の子育てによるこびを実感できる取組を進めます。

(関連施策: 施策12 子育てのよろこびを広げる安心サポートの充実)

未来目標2 住み続けたくなる移住・定住

人口減少の抑制には、良好な住環境の整備が欠かせません。町有地や空き家を活用し民間事業者のアイデアも取り入れながら、子育て世代や若者らが安心して暮らせる環境を整えます。

(関連施策: 施策1 移住・定住を促進するための対策)

未来目標3 地域とともに育む学校運営

美里中学校を核に、学校と地域が協力して教育活動や課題解決に取り組む体制を充実させます。学校運営を地域とともに進め、子どもたちと住民がつながる「みんなの学びの場」から、町の未来を描く力を育みます。

(関連施策: 施策7 学校教育の充実)

未来目標4 スポーツでつながる健康と暮らし

幅広い世代にスポーツと交流の場を広げます。子どもたちや若者世代に魅力的なスポーツ環境を提供するとともに、高齢者の健康づくりや社会参加を進めます。地域全体の健康と活力ある暮らしを支えます。

(関連施策: 施策10 生涯学習の充実
／施策18 高齢者が安心して暮らすための対策)

未来目標5 挑戦と再生が拓く地域産業

農業や中小企業の挑戦を支援し、事業の高度化と生産性を高めるとともに、農業施設のリノベーションや空き店舗の活用、事業承継の取組を進めます。さらに、鉄道などの地域資源を磨き上げることで、産業の進化と地域経済の循環を促します。

(関連施策: 施策21 担い手の確保と魅力ある農業の展開
／施策25 商工業を振興するための対策)

未来目標6 脱炭素と経済の調和

住民や事業者への啓発を進め、日常生活や産業の中で脱炭素を実感できる取組を広げます。環境教育を町内小学校で推進するとともに、公共施設の省エネ化や再生可能エネルギー電力への切替え、公用車のEV化等を進めます。

(関連施策: 施策3 再生可能エネルギーの利用促進と脱炭素の推進)

未来目標7 3つの学び舎を未来の原動力へ

人口減少の抑制には、地域の魅力を高め、にぎわいを生み出す取組が不可欠です。旧中学校施設をいかし、地域課題を解決し新たな魅力を生み出す利活用を進め、かつての学び舎を未来の原動力へと再生します。

(関連施策: 施策34 公共施設を総合的・計画的に管理するための対策)